

YMCAウォーターセーフティーキャンペーン

あなたは知らないうちに
こんな危ないことをしていませんか？

海や川で

夏になると、海や川に行ったり、水遊びをしたりすることが多くなります。しかし水の中は、陸上とは違って、ちょっとした不注意でケガをしたり、生命を失ったりすることがあります。この絵のお友だちはどうして危ないのでしょうか？みんなで考えてみよう。



海上における事件・事故の
緊急通報用電話番号は
「118番」(海上保安庁)

遊泳禁止
No Swimming
遊泳禁止場所、
遊泳禁止発令時は
泳がない

離岸流
岸から沖に向かって流れる水の流れ

逆潮流
岸によせてきた波が海底の傾斜に沿って沖に戻る水の流れ

潮汐
海水面が昇降する現象

大きな岩や消波ブロックのそばで遊ぶ

つきそいの大人の人から遠くはなれたところへいく

川沿いの草がおいしげっているところで遊ぶ

自然災害(台風、地震、雷など)の可能性があるときは、水辺には近づかないようにしましょう。注意報や警報が出ていないか、その地域の避難場所はどこかなどを確認してください。

おぼれている人をみつけたらどうするの？

子どもたちだけでは助けられない、水の中に入らない。

「おぼれている人」や「誤って水に落ちてしまった人」を見つけたときの対処法

①119番へ連絡しよう

連絡できたら指示を聞く。
連絡できなければ、
連絡できる人を探しに行く。
※携帯電話を持っている人に知らせましょう。



救急隊が到着するまでにできること

②浮く物を投げる

浮く物がある場合は、お腹を
目がけて投げ、つかまるよう
に指示する。



保護者の方へ

救助の基本は、救助者自らの生命を守ることです。第一に「決して子どもだけで助けようとせず、近くの大人の人に大声で知らせ、助けを求め、第二に「付近に大人の人がいなかった場合、こんな方法が安全な助け方だよ」という順序で教えてください。繰り返し教えることが大切です。また、海での事故の場合は、118番(海上保安庁)へ通報ください。

突然水の中に落ちてしまったら!?

なにより大切なことは落ち着くことです。
あわててしまうことで泳げる人でもおぼれたり、
心臓が止まったりすることがあるためです。

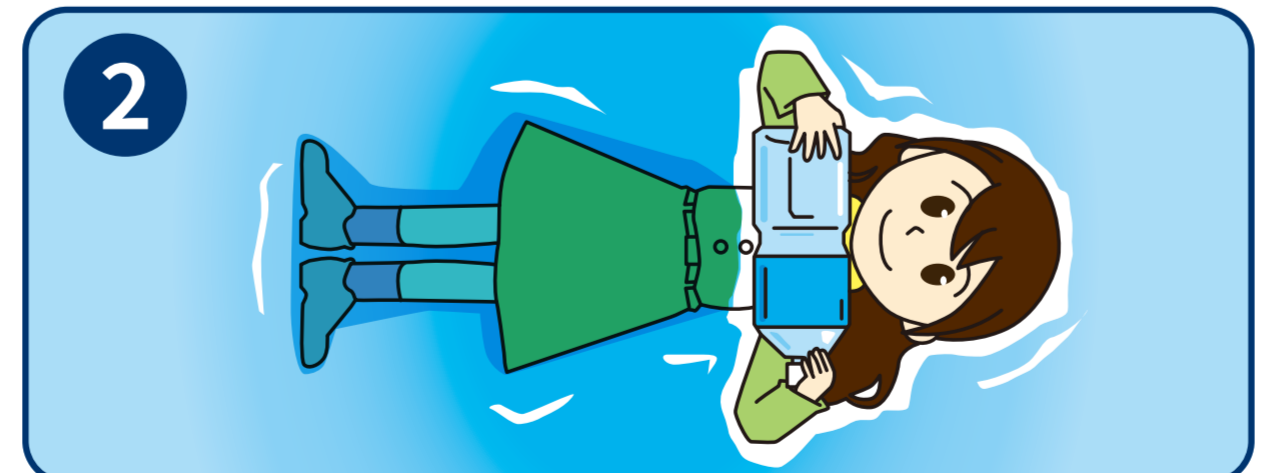
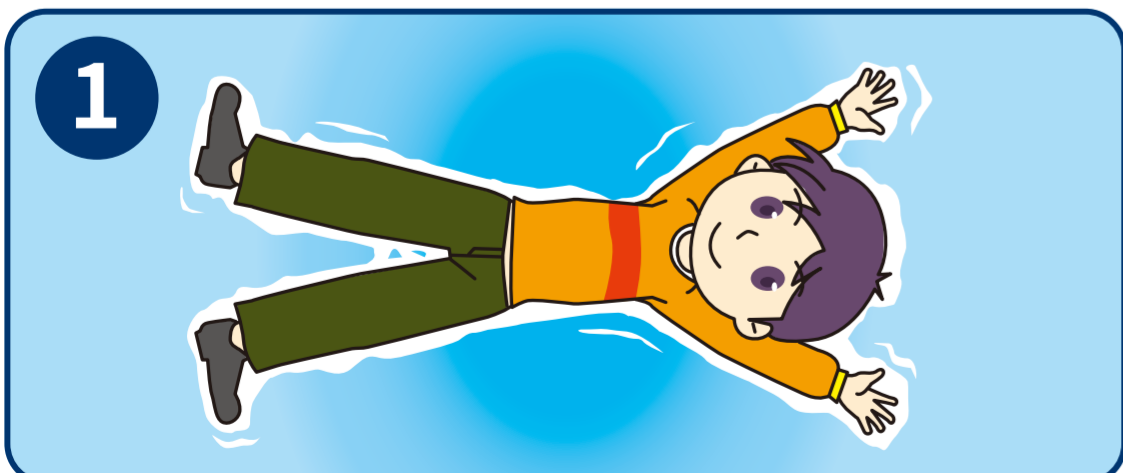
落ちついて浮き身の姿勢をとる

岸が遠い、高い場合
岸が近い、低い場合

浮いて待つ
浮くものがあれば、胸の前で持つ
岸まで泳いで戻る

水に落ちたら落ち着いて浮き身の姿勢をとろう

水の事故の多くは岸から3m以内でおきています。それは誤って水に落ちてしまったことにより気が動転してしまい、岸に戻りたくても戻れないからです。誤って水の中に落ちてしまったら、あわてて岸に戻ろうとするのではなく、まず落ち着いて浮き身(背浮き)の姿勢をとります。



浮き身を上手につくるポイント

- おなかを上げる・手足をのばす
- 頭のうしろを水につける・全身の力を抜く

大原則は
「浮いて、待とう!」



ハンドブックを
携帯して
いざというときに
備えましょう!



このポスターはYMCA
ウォーターセーフティー
ハンドブックをもとに
作られています。



ウォーターセーフティー
キャンペーンに
関する情報は
こちらから